



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

コロナ陽性、市内で20人に

最前線の医療現場から悲鳴

新型コロナウイルスの感染が広がる中、春日部市では20名の陽性患者が確認されています。(4月14日現在)

「緊急事態宣言」が出されましたが、感染予防も検査、医療体制もあまりに不十分です。最前線の医療現場からは悲鳴が上がっています。

マスク、消毒薬不足

院内感染が心配

「院内感染が一番心配」
「医療機関が感染源となってしまった報道は他人事ではなく、次はウチかもしれない。」

そうならないように...と緊張が絶えません」と話すのは、かすかべ生協診療所の土生(はぶ)看護師長。

かすかべ生協診療所では、待合室に入る前に検温、手指消毒し、マスクをつけるスペースを設けてウイルスを持ち込まない対策をしています。発熱や咳がない、無症状の感染者もいるので、完璧にブロックすることはできません。そのうえ、マスクの無い患者につけてもらうために確保したマスクは残りわずかとなり、手指消毒の消毒薬も在庫がない状態ということです。

PCR検査 国・県の支援急務

保健所からは「市内にPCR検査ができる医療機関が1カ所しかない。積極的に手をあげてほしい」旨の通達が来たが、マスクや消毒薬が足りない中で、PCR検査ができない独立スペースを設け、検査キット、マスク、ゴーグル、防護服...と人員を確保するのはとても困難。「ウチだけでなく、どこの医療機関も手あげられない。検査を増やす必要があるが、そのためには国や県が必要な支援をしてほしい」と訴えます。

感染に気付かなければ、他の人に感染を広げてしまうリスクが高まります。早急な検査体制の充実が必要です。

医療機関向け情報提供

隔離施設の要望も

医療機関向けの情報がなく、市内の医療機関、介護施設の関係者が陽性になり診療や介護サービスを休止しているなどの情報を患者さんの噂話などで知ることが多い。介護サービスを受けている患者、他の医療機関も利用している患者は少なくないので、接触の可能性を把握し、対応するため医療機関が必要な情報は知らせてほしい。

軽症者、接触者は自宅待機としているが、自宅では家族にほぼ100%感染し、ひとり暮らしなら生活に必要な買い物などで感染を広げる可能性がある。軽症者、接触者が感染を広げないために隔離施設を設けてほしい。などの要望も出されました。

日本共産党市議団は、コロナウイルスから市民の命と暮らしをまもる活動に取り組んでいます。身近なお困りごとなどお気軽にご連絡ください。

後期高齢者医療制度は廃止を

高齢者に痛みを感じ取ってもらおう仕組み!?

後期高齢者医療制度は、公的医療費への国の財政支出を削るために、従来の保険制度から75歳以上の高齢者を分離し、県単位での運営として2008年度から始まりました。

「医療費高騰の痛みを、高齢者が自分の感覚で感じ取ってもらおう」として、75歳になると、国保や協会けんぽから脱退させられ、扶養家族からも外される仕組みから「姥捨て山」との批判がある中の強行実施でした。

保険料7万3357円

47都道府県中10位

埼玉県の後期高齢者医療制度における保険料は7万3357円ですが、これは

全国47都道府県中10番目の高さです。

春日部市の被保険者数は3万5653人で、保険料が高いため均等割軽減を受けている方は2万1039人です。これは、被保険者の約6割に上ります。後期高齢者医療制度が高齢者の実態に合っていないことの表れです。

さらに国は、低所得者への均等割軽減の特例を段階的に廃止することを決め、2019年度は9割軽減を8割にし、20年度は7割にしました。最も厳しい状況にある方の保険料を事実上値上げするという、あまりに冷たい仕打ちです。

窓口負担も2割へ

引き上げ検討

保険料が高齢者に重い負担となっている中、安倍政権は医療費窓口負担を現在の1割から、原則2割にすることを検討しています。

厚生労働省の資料では、75歳以上の1人当たりの患者負担は年7万4千円で、75歳未満の年4万4千円の1・4倍です。高齢者は病気になりやすく、重症化しやすいため早期発見や継続的な治療が重要です。

安倍政権のもとで、年金の支給額が減らされる一方で、消費税の増税が家計の負担を増加させています。この上、医療費の窓口負担引き上げは、生活が苦しくて具合が悪くても受診を我慢する医療抑制につながり、絶対に許すわけにはいきません。

所得ゼロでも重い

保険料負担が!

年金から天引きされる保険料が毎年のように引き上げられ、高齢者に重い負担となっていますが、後期高齢者医療制度では、所得がゼロでも保険料が課せられます。

保険料を払いたくても払えない低所得者の滞納は全国で毎年20万人以上に登り、本市でも昨年12月31日現在の滞納者は千人を超えています。この内、128人の方が所得ゼロでした。

そもそも75歳以上と云えば、お金の心配などせず安心して医療にかかれるようにすべき年代です。しかし、安倍政権は「全世代型社会保障の実現」の掛け声で、保険料軽減措置を廃止。医療費窓口負担の引き上げも狙っており、高齢者の健康と命を脅かしています。

高齢者に重い負担を押し付けるこの制度は廃止し、元の老人保健制度に戻すべきです。

市立医療センター Tel.735-1261(夜間毎日、土・日・祝日の昼間)内・外 救急電話相談#7119(毎日24時間)

4/19(日) 岩本小児科医院(小児科系)谷原3-12-1 Tel.795-8796

春日部厚生病院(内科系)緑町6-11-48 Tel.736-1155 かすかべ整形(外科系)粕壁東2-1-35 Tel.760-2551

4/26(日) 渡辺整形外科医院(外科系)西金野井309-12 Tel.746-0007

大川医院(内科系)備後西3-1-5 Tel.743-3121 一ノ割クリニック(小児科系)備後東1-28-22 Tel.731-1771

休日の当番医